

知床の窓から見えるもの



あけましておめでとうございます
本年もよろしくお願ひいたします



社会医療法人孝仁会知床らうす国民健康保険診療所は、公設民営で令和7年7月に14年目を迎えました。今後も患者様が安心してかかる、思いやりと笑顔あふれる診療所を目指していきますので、本年もどうぞよろしくお願ひ申しあげます。

新年最初の記事を担当させていただくのは、昨年釧路より転勤して参りました事務員です。

春に来たため羅臼の冬を体験するのは初めてですが、雪が頻度、量ともに多く驚いております。道東の沿岸部はどこも同じような雪の量だと思っていたため意外でした。これからは流氷も見られると聞きますし、オホーツク海側に近いのだと実感します。

個人的な昨年印象に残っている羅臼でのできごとは、町内にてカラスアゲハと思われる蝶を見かけたことでしょうか。近くを飛んでいた黒く大きな蝶に日光が当たると翅が青く光り輝いており、また大きく羽ばたく姿は確かにカラスを思わせるものがありました。私は子供の頃からどちらかと言えば虫はあまり得意ではないのですが、それを超えた美しさがありました。

このような自然豊かな羅臼町に興味がある方はぜひ一度足を運んでみてください。

昨年末よりインフルエンザが流行しておりますので、皆さんもご自愛くださるようお願いいたします。知床らうす国民健康保険診療所は皆さんに支えられて運営されています。体調が悪い時はいつでも受診に来てください。